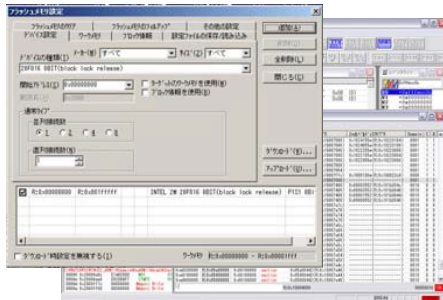


WATCHPOINT Debugger for EJSCATT FR-V



JTAGエミュレータ「EJSCATT」との組合せで使用します



- 小型サイズ(70mm×108mm×17mm)
- USBバスパワーのみで動作可能(デバッグ及びPC接続のライタとして使用時)

特長

- 他のCPUシリーズをデバッグする場合、ハードウェア本体は共通でソフトウェアの追加購入で対応可能
- フラッシュメモリへのダウンロード機能
- オンボードまたはCPU内蔵フラッシュメモリへの書込み機能
- スタンドアロンライタとして単体使用可能(ACアダプタで動作)
- 本体のPLAYボタンによりワンタッチデータ書込み可能
- 信号入力によりスクリプトを実行し、スクリプト終了状態で外部で検出する為の、外部端子設定機能

- 量試、量産品の自動検査、バージョンアップ装置として利用可能
- 富士通製FR-Vシリーズをサポート
- DSU方式によるデバッグに対応
- C/C++高級言語対応 (動作OS: Windows Vista/7※1)
- 各種PC※2: ノートPCなどのホストマシンで動作 (USB接続)

主な仕様

対象CPU	・FR400series FR401A (MB93401A)、FR403 (MB93403)、FR405 (MB93405)、FR423 (MB93423)、FR461 (MB93461) ・FR550series FR555 (MB93555)、FR577 (MB93577)
ユーザ電源	3.3V
メモリ空間	全ての領域がユーザに解放されています。
割り込み	全ての割り込みがユーザに解放されています。
ブレーク	以下の条件を設定できます。 ・ハードウェアブレークポイント 命令ブレーク4点、データブレーク2点 ・ソフトウェアブレークポイント(数は無制限) ※ROM領域への設定はできません。 FR461で使用する場合は「全ての関数にSPBを設定」機能が使用できません。 ・デバッグからの強制ブレーク マシンスイクルカウンタによるブレーク マシンスイクル毎に加算されるカウンタがオーバーフローを起こした時にブレークさせることができます。 キャッシュプロファイルによるブレーク キャッシュヒット/ミスヒットのプロファイルカウンタがオーバーフローを起こした時にブレークさせることができます。
分岐トレース	命令の実行履歴の解析が可能です。 以下の条件を設定できます。 ・フリーラントレース ブレークする直前の実行解析が可能です。 ・オールトリガ 実行開始直後の実行解析が可能です。
フラッシュメモリダウンロード機能	・ターゲットシステム上のフラッシュメモリに対して、デバッグからプログラムを直接ダウンロードできます。 ・対象外のフラッシュメモリでも書き込みプログラムを別途作成する事で対応可能(NAND型、シリアルFlash等) ・スタンドアロンライタ機能 添付のMicroSDにフラッシュメモリ書き込み操作手順を記憶させる事で、EJSCATT単体でフラッシュメモリへの書き込みが出来ます。(2通りの操作手順を記録可能)
キャッシュプロファイル機能	キャッシュのヒット/ミスヒットをカウントすることができます。
パフォーマンス測定機能	指定区間の実行時間、およびキャッシュのヒット率などを計測することができます。
ガバレッジ測定機能	プログラム領域の命令実行/未実行アドレス、およびデータ領域のアクセス/非アクセスのアドレスを測定できます。

※1 Windows Vista/7 32ビット版/64ビット版に対応。

※2 一部の機種において動作チェックの必要がありますので、事前に確認のほどお願いいたします。

製品構成



■CD-ROM

※本製品はFR-VシリーズのCPU対応用デバッガ(ライセンシーを含む)として開発された製品です。他のCPUのソフトウェア開発には使用することができません。

サポート言語:

高級言語デバッグ「WATCHPOINT」で高級言語デバッグを行うためには、デバッグ対象のプログラムとそのプログラムのデバッグ情報を必要とします。最適なデバッグ情報を出力するCコンパイラまたはアセンブラには下記の言語があります。

- 富士通 : SOFTUNE V5,V6
- GNU : GCC

サポートOS:

OS名		
REALOS	Linux(axLinux)	Linux(uClinux)

※サポートコンパイラ・Ver等は、変更がある場合がありますので、お問合せください。
※サポートOSは、サポート言語のVerによって、対応状況が変わる場合がありますので、お問合せください。
※サポートOSは、一部オプションソフトウェアが必要な場合がありますので、お問合わせください。



■JTAGケーブル
SCP5000: SCP FR-V

ターゲット接続

10芯DSUコネクタピン配置(上面視図)



ターゲット接続
10芯DSUコネクタピン

WATCHPOINTソフトウェアライセンスについて

WATCHPOINT Debugger for EJSCATT ではライセンス・システムを採用しています。
1台のJTAGエミュレータに対して複数種類のWATCHPOINTライセンスを取得する(関連付ける)ことができます。
※WATCHPOINTライセンスは一度関連付けたJTAGエミュレータのみで使用可能です。
別のJTAGエミュレータで使用する場合は、ソフトウェアを追加購入してください。

セクション・ガイド(製品ご購入ガイド)

お客様側にてご用意		標準的なデバッグシステム構築に購入必要な製品			
ホストPC※1	PCとの接続	JTAGエミュレータ	ソフトウェアデバッガ(WATCHPOINT)	JTAGケーブル	サポートサービス
Windows PC	USB2.0/1.1接続	SCD001J: EJSCATT	SCM0500: WP DBG for EJS FR-V	SCP5000: SCP FR-V	SSS010: ソフィア・サポート・サービス

太枠口で囲まれた部分の製品は標準的なデバッグシステム構築時に必須となる製品です。
JTAGエミュレータはソフトウェアデバッガライセンスご使用時、ハードウェアキーの役割を果たします。

※1 ホストPC環境、OS: Windows Vista/7(32ビット版/64ビット版)、メモリ: 各OSの推奨環境準拠、HD容量: インストール時50MB必要。

* 各製品は、各社の商標または登録商標です。
* 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

(Ver.140929)

株式会社Sohwa & Sophia Technologies

お問い合わせは最寄りの営業所へ

- 本社営業 044-989-7253
- 名古屋支社 0566-24-5324
- 関西事業所 06-6305-3360